

## ヌーランド：「米は反米宣伝を禁止し、ウクライナへ致命的兵器を送る」

【訳者注】ヌーランド国務次官補が、ここまで非現実的な、事実と丸反対のことを言うのは、確実にマイナス効果であろう。昨年初めのウクライナのネオ・ナチによるクーデタは、彼女が指導したもので(そのとき盗聴された電話で **Fuck the EU!** と言ったので評判になった)、それがうまくいかないで、このような途方もない発言になるのであろう。新聞とラジオしかなかったナチスのゲッペルス宣伝相の時代と、今は大きく違っている。このようなプロパガンダは通用しない。もしこれを受け売りするような我が国のメディアがあれば、それは笑いものになるだけでなく、犯罪新聞、犯罪テレビとして断罪されるべきである。

March 5, 2015

RT (Russia Today)

[http://img.rt.com/files/news/3a/10/d0/00/2644909\\_gayane\\_web.mp4?event=download](http://img.rt.com/files/news/3a/10/d0/00/2644909_gayane_web.mp4?event=download)

ワシントンと NATO 同盟国は、すでに 1 億 1000 万ドル以上をウクライナへの“安全保障援助”に費やしており、この援助の“致死力”を高める方針だ、とアメリカのトップ外交官が、議会委員会でのロシアをなじるスピーチで言った。

「我々は過去 14 か月以上にわたって、1 億 1,800 万ドルの安全保障援助をキエフ政府に送っている」と、米国務次官補 Victoria Nuland は、水曜日、下院外交問題委員会で話した。訓練のほかに、この援助には大砲レーダーや通信装備などの高度防衛機器が含まれている。

「28 の NATO 加盟国のすべてが、何らかの安全保障援助をウクライナに対してしている」とヌーランドは言った。

関連記事：「プーチン：西側はすでに兵器をキエフに供給しているが、モスクワはミンスク合意について楽観的」 <http://rt.com/news/233231-putin-ukraine-conflict-west/>

2 月半ばにハンガリー訪問中の、ロシア大統領ウラジミール・プーチンは、記者団に対し、西側はずっとキエフに兵器を供給している、しかし自分はそれでも、数日前のミンスク停戦合意について楽観的だと語った。これに対し、その主張は「不正確」だと米国務省報道官 Jen

Psaki (サキ) は反論した。

しかしヌーランドによれば、アメリカは「かなりの量の非致死的安全保障支援、防衛兵器をウクライナに与えている。問題は兵器の致死力を増やすかどうか、装備の種類の問題だ」。

ワシントンは武器を買うお金をウクライナに送った方がいいのではないかと訊ねられ、ヌーランドは、「アメリカがそれを供給しなければ」、キエフ政府が兵器を売ってくれる国を見つけるのは「かなり困難」だと答えた。しかし彼女は、ホワイトハウスがキエフに兵器を送る決定をするかどうか、またその時期については、言えないと言った。

<https://soundcloud.com/rttv/nuland-reality>

### ワシントンは反米プロパガンダ予算を増やす

一方アメリカは、ヌーランドが「ウソに対抗して真理を広める」のが目的だという、情報キャンペーンに力を入れている。ワシントンは 2015 年には、2,300 万ドル以上——昨年の 49%増、2013 年の倍——をロシア語教育プログラムに投ずるだろう。

関連記事：「プロパガンダと“民主主義推進”のために：米務省が RT に対抗する予算を求め」 <http://rt.com/usa/235579-kerry-budget-rt-hearing/>

更に、この欧州・ユーラシア担当国務次官補は、自分は「外国支援と公的外交基金として 2000 万ドル以上」を要求したと話した。

ここには、ロシア語を話すジャーナリストの「養成」、市民社会と独立メディア監視員の「援助」、学生と企業家の「交換プログラム」なども含まれる、とヌーランドは説明した。

同時にヌーランドは、ロシアが、ヨーロッパの「ニセの NGO」を資金援助するために「黒い汚い金」を使っており、政治的候補者を「クレムリンの金庫から」支援している、と主張した。

関連記事：「ヌーランドは“真実を語る”米メディアへの RT の脅威を見くびっている」 <http://rt.com/usa/226863-nuland-media-space-rt/>

ヌーランドは一方では、「クレムリンの広範囲なプロパガンダ・キャンペーンは、ヨーロッパ中の人々を毒している」と用意した原稿で主張するとともに、他方では、ヨーロッパには

ロシアのメディアに対して、アメリカでは RT に対して、「強い一般の反発」があるのは、「人々がクレムリンの作り話でなく、真実を求めているからだ」と主張した。

<http://www.state.gov/p/eur/rls/rm/2015/mar/238147.htm>

アメリカの真実情報キャンペーンの努力は、ある程度の効果があったようだ——特に米議会内では。議員の **Eliot Engel** (民主、ニューヨーク) は、最近、「ラジオ・フリー・ヨーロッパ」(RFE) の話を信じて、1万2,000のロシア軍部隊がウクライナに入っているようだという、ベン・ホッジス将軍の根拠のない主張を、事実として引用していた。困みに、RFE は米政府の国際放送サービスの小さな一部に過ぎない。

### 根拠のないヘイト・スピーチ

この米次官補は、ロシアに対する粗雑な主張と、どぎつい修辞を、証拠によって固めようという考えはあまりないようである。あるところでは彼女は、非常に長い一つのセンテンスに、いろんな内容を盛り合わせることによって、自分自身のプロパガンダを投げつけたようにさえみえた。これは明らかに、ウクライナで起こっていることは、すべてロシアの責任だという感情をつくり出すことを狙ったものだ。

「東部ウクライナでは、ロシアとその傀儡分離派が、口に言えないほどの暴力と略奪を働いており、ロシアの重火器や軍部隊が何百も何百も国境を越えて侵入し、この夏には旅客機が撃墜され、ドニエツク空港が消滅してしまった」と、ヌーランドは言った。

**関連記事**：「大失態：キエフの国会議員が、ウクライナに侵入したロシア戦車の“証拠”で、米上院議員をだまそうとする」 <http://rt.com/news/232067-fake-photos-russian-army/>

ヌーランドの証言には、“何百もの”ロシアの戦車や他の兵器システムが、ドニエツクやルガンスクの民兵団を援助するために、入ってきているという主張が含まれているが、ワシントンも他の米同盟国も、こうした頭に血の上った断言を証明したことがない。

昨12月、アメリカ人が、ロシアの軍用車がウクライナに侵入している写真と言われるものを公表しようとしたとき、それは南オセチアの2008年の写真だったことが判明した。

唯一の国際的なモニターの権限をもつ OSCE は、ロシア軍やその装備がウクライナに越境しているところを発見したことがない。

「クリミアと東ウクライナの一部は、恐怖の支配に苦しんでいる」と、アメリカの対ウクラ

イナ戦略チーフは言ったが、これは、クリミアの国民投票や、それに続くこの半島のロシアへの編入を強制したのは、キエフの政変であったという事実を全く無視している。

<https://soundcloud.com/rttv/nuland-us-role>

この米外交官（ヌーランド）が触れようとしないもう一つのことは、キエフ政府による東部地区での“対テロリスト作戦”の結果、何千人もの一般市民の犠牲者が出たこと、それはこの地区の人民が、ウクライナのクーデタを認めるのを拒否した後だったことである。ヌーランドは、170万人ほどのウクライナ人が自分の家を捨てて逃げたのは、モスクワがそう強制したもので、そのほとんどは偶然ロシアに入り込んでいたのだ、と言いたがっている。

「これは作られた紛争、クレムリンによってコントロールされ、ロシアの戦車や重火器が煽り立てたもの——ロシアの納税者の犠牲において、その母や妻や子が、もし利益を受けたければ、その死の原因をあまり深く調べないように言われた、若いロシア人の命を犠牲にする紛争だ」と、ヌーランドは、このウクライナの悲劇におけるワシントンの役割を、全く度外して言った。

関連記事：「休戦協定違反は東部ウクライナで減っている — OSCE」  
<http://rt.com/news/237793-ukraine-osce-ceasefire-withdrawal/>

ヌーランドの言明は、この委員会の内部の同じような怒りと共鳴したようだ。委員会議長で連邦議員の Ed Royce は、クレムリンは「ロシア語世界のあらゆるスキンヘッドと不満分子をかり集め、彼らを東部地区に連れてこようとした」と言った。

連邦議員エリオット・エンゲルは、ロシア外相セルゲイ・ラブロフが、「ウソ、ウソ、ウソの積み重ね」を拡散していると言って非難し、同 Albio Sires は、ロシア大統領ウラジミール・プーチンを——ガーディアン紙の引用によれば——「たまたま外国の頭である KGB の殺し屋 (thug)」と呼んだ。

また、多くの連邦議員が、ミンスク停戦合意は守られていないと主張し、ヌーランドは、OSCE は「約百件の」違反を確認していると言ったが、OSCE 自体は、過去一週間の停戦違反は東ウクライナでは減少していると言ったばかりである。

ロン・ポール研究所の責任者 Daniel McAdams は RT に対し、「ヴィクトリア・ヌーランドは、ウクライナ紛争をつくり出したアメリカの役割を、完全に無視している。彼女は、キエフの援助する軍隊が東ウクライナを爆撃していた事実を全く見ないで、これら独立の戦士

たちが、自分自身と自分の同胞を殺しているかのように言っている」と語った。

「我々が見ているのは、前提になっている地政学的計画に奉仕する、純粋な修辞とプロパガンダである。その計画の目標の一つとして、〈ミンスク-2〉は働いていない、ロシアがそれを破っている、ということがなければならないのだ」と、雑誌「クロニクル」の外交問題編集者 Srdja Trifkovic は説明した。